I·O DATA

HDLMシリーズ

必ず お読みください

B-MANU200038-01

HDLMは、LANで共有できるLAN接続ハードディスクの便利さに、「ミラーリング」「セルフバックアップ」の2つの自動バックアップ機能を搭載。
本体内に2台のハードディスクを搭載し、もし一方のハードディスクがクラッシュしたとしても、もう一方のハードディスクが機能している限り大切なデータを失うことがありません。
さらに、自動的にファイルのバックアップコピーをUSB接続で増設したHDDへ保存する「セルフバックアップ」機能も搭載。USBプリントサーバー機能も搭載し、オフィスや学校でのデータ保存・共有に最適です。

ご注意

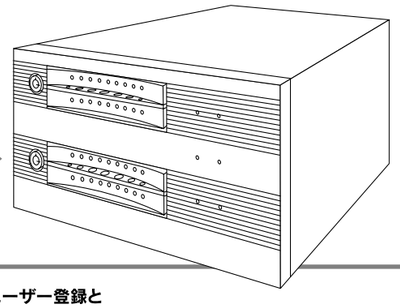
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、本体内のファームウェアを除きお客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、本体内のファームウェアを除きお客様に開示、使用許諾を致しません。
また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。
(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
13) 国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

商標について

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

箱の中には

☐ 本製品(1台)［HDLMシリーズ］



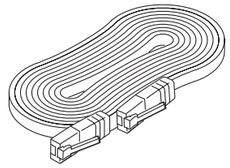
■ユーザー登録と サポートソフトのダウンロードについて

▼ ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

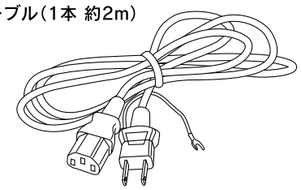
シリアル番号(S/N)は本製品に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。

●シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。
http://www.iodata.jp/regist/
弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
http://www.iodata.jp/lib/

☐ LANストレートケーブル(1本 約3m)



☐ 電源ケーブル(1本 約2m)



☐ ハードウェア保証書(1枚)
☐ DELTA2ロゴシール(1枚)
☑ 必ずお読みください(本紙:1枚)
☐ セットアップガイド(1枚)
☐ ゴム足(2本) ※本製品の設置面を傷つけないよう下に敷いてください。
☐ HDDユニット(製品装着済)(2台)
☐ ロックキー(2個)

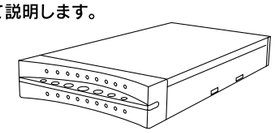


別売オプション品

弊社の別売オプション品について説明します。

●交換用HDD

型 番
HDM-OP 160・250・300



動作環境

本製品を使用できる環境は以下の通りです。お使いの機種や環境を再度ご確認ください。

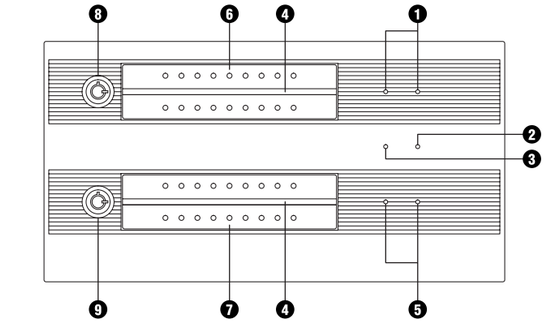
対応機種	対応OS	備 考
LANインターフェイスを搭載し、TCP/IP通信が正常に動作する機種 ●NEC PC98-NXシリーズ ●DOS/Vマシン ●Apple Macintoshシリーズ ※弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認しています。	●Windows XP ●Windows 2000 ●Windows Me ●Windows 98(Second Edition含む) ●Windows NT 4.0(SP4以上) ●Mac OS X (10.1～10.3.2) ●Mac OS 8.1～9.2.2	●本製品および別売オプション HDD「HDM-OPシリーズ」以外のご利用はサポート外です。 ●本製品の設定には Internet Explorer 5.0以降の Webブラウザが必要です。 Windows、Macintosh間ではファイル、フォルダ名に2バイト文字(日本語など)は使用できません。

注意 本製品使用にあたっての注意

本製品は、ミラーリングにより、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウィルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB接続したHDDなどへのバックアップも留意してください。

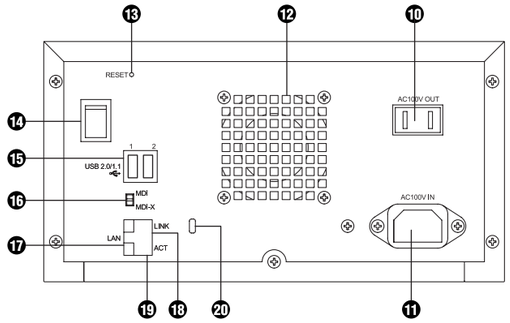
各部の名称

装置前面図



No.	名 称	機 能
❶	HDDユニット1 ステータスLED	HDDユニットの動作状態を表示します。 ランプの点灯・点滅パターンについてはセットアップガイド裏面「LED表示」を参照してください。
❷	POWERランプ	●青点灯:電源ON時 ●青点滅:本装置起動中／シャットダウン中 ●青高速点滅:チェックディスク時／本製品設定中／ファームアップデート中
❸	ACCESSランプ	●緑点滅:本製品のミラーリングシステムにアクセス中 ●消　灯:アクセスなし
❹	HDDユニット取手／アクセスLED	HDDユニットを取り出す際に利用します。 HDDユニットへのアクセス中に青色に点灯します。
❺	HDDユニット2 ステータスLED	HDDユニットの動作状態を表示します。 ランプの点灯・点滅パターンについてはセットアップガイド裏面「LED表示」を参照してください。
❻	HDDユニットベイ1	HDDユニットを搭載します。
❼	HDDユニットベイ2	
❽	キーロック1	HDDユニットをロック／解除します。 ブザー音の停止に利用します。
❾	キーロック2	

装置背面図



No.	名 称	機 能
❿	サービスコンセント	AC100V電源コンセント。(最大300W) (電源スイッチとは非連動、常時給電)
⓫	電源コネクタ	AC電源ケーブルを接続します。
⓬	排気口	ファンにより排気を行います。 周囲をふさがないでください。
⓭	リセットスイッチ	本装置の設定を初期化します。
⓮	電源スイッチ	本装置の電源を入/切します。
⓯	USBポート(1、2)	増設用ハードディスクやプリンタを接続します。(対応する製品は弊社ホームページでご確認ください。)
⓰	MDI／MDI-X切替スイッチ	接続先のネットワーク機器がパソコンの場合は[MDI-X]、ハブの場合は[MDI]に設定します。
⓱	LANコネクタ	本製品添付のLANストレートケーブルを接続します。
⓲	LINKランプ	●緑点灯:LANリンク時 ●消灯:LAN未接続時
⓳	ACTランプ	●黄点灯:LANデータ送受信時 ●消灯:LANデータ送受信なし
⓴	ケンジントンスロット	盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

<例>「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

<例>「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

<例>「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警 告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を修理・改造・分解しないでください。
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。
- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

本製品の取り付け・取り外しの際は、必ず本書で方法をご確認ください。
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

本体を濡らさないでください。
火災・感電の原因となります。
お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

濡れた手で本製品を扱わないでください。
感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注 意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。
ハードディスクやMOディスクは消耗品です。
故障に備えて定期的に本製品の外部へバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 温度差の激しい場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- 強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- 傾いた場所
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）
- 静電気の影響の強い場所

≪使用時のみの制限≫
- 保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- 製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、本製品をリセットしないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。
- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- 本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

本製品のコネクタ・基板部分には触れないでください。
基板部分は、とがっている場合があります。誤って触れるとけがの原因となります。また、コネクタ・基板部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

本製品を結露させたまま使わないでください。
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。
接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

本製品を使用する上で守っていただきたいご注意です。
必ずお読みください。

全般の注意

- 動作中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- はじめて増設用ハードディスクを本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットを行います。
- 本製品起動処理中は本製品の電源を切ることはできません。
- ファイルコピー中に本製品や増設用ハードディスクの電源を切るとコピーの処理が正常に行われません。本製品や増設用ハードディスクのアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
- 本製品をDHCPサーバが存在するネットワークに接続しても、正常にIPアドレスを取得できない場合があります。その場合は、本製品のIPアドレスを固定に設定してご利用ください。
- 本製品背面のUSBポートには、対応の機器以外の機器は接続しないでください。（USBハブも接続できません。対応USB機器は、弊社ホームページ http://www.iodata.jp/をご覧ください。）
- 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルータを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

本製品設定時の注意

- 本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。
- 本製品に登録可能なユーザ数、グループ数は最大90個までとなります。1グループに登録可能なユーザは90ユーザまでとなります。
- ユーザ名とグループ名には同一の名称は使用できません。ユーザ名と共有名、グループ名と共有名は同一の名称が使用できます。
- Webブラウザで表示されるハードディスク使用領域とWindowsからドライブ割り当てしてプロパティから見た使用領域の値が大きく異なります。これは本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側に問題はありません。
- ハードディスクの簡易チェックに要する時間は、本製品とハードディスクの状態により大きく異なります。通常は、非常に短い時間で終了しますが、ハードディスクの状態により、数分から数十分程度の時間を要することがあります。
- ユーザ名とグループ名には数字のみの名称は設定できません。
- コンピュータ名（HDLM）に、数字やハイフン（-）で始まる名称は使用できません。
- 共有名に、スペースは使用できません。
- ブラウザから設定する、共有、グループ名、ユーザ名（小文字のみ）、パスワードはすべて、半角英数字（ASCII文字）のみが有効となります。
- 本製品をDHCPクライアントに設定後、DHCPサーバが存在しなかったなどの理由でIPアドレスの取得に失敗した場合、「192.168.0.200」に設定されます。IPアドレスを変更する場合は、この値で設定画面を開いてください。
- 本製品の管理者は、すべての共有フォルダにアクセスする権限をもっています。セキュリティのため、定期的にパスワードを変更することをおすすめします。

Windowsで使用する場合の注意

- 本製品にネットワーク経由で接続可能なWindowsの端末数に制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。推奨する同時接続台数は16台までとなります。（ネットワークドライブの割り当ても同様です。）
- Windows 98から本製品にファイルのコピー中にLANケーブルが抜けるなどして中断された場合、コピー途中のファイルが本製品上に残り消去できなくなる場合があります。この場合は、いったん本製品の電源を切り、再度起動してからコピー途中のファイルを削除し、コピーをやり直してください。

Mac OSで使用する場合の注意

- 下記の環境では、名前が2バイト文字（全角文字）のファイルやフォルダを共有することはできません。半角英数文字で設定してください。
  - Windows ⇔ Mac OS間で使用する場合
  - Mac OS X(10.2.3以降は除く)のSAMBAクライアントで使用する場合
  - Mac OS 9.x以前（AppleTalk）⇔Mac OS X(SAMBA)間で使用する場合
- 本製品にネットワーク経由で接続可能なMacintoshの端末数は最大30台までとなりますが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。推奨する同時接続台数は8台までとなります。
- Macintoshで共有する場合、AppleTalkを使用する方法とTCP/IPを使用する方法があります。

ハードディスクを廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

- ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性がありえます。

●ハードディスク上のソフトウェアについて
ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

- 情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

使用ソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991に基づいた、ソフトウェアを使用しております。
変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

お問い合せ

本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

製品Q&A、Newsなど

http://www. iodata. jp/support/product/hdlm/

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話： 本社…**076-260-3644** 東京…**03-3254-1144**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**
インターネット： http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
3. ご使用のサポートソフトのバージョン
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及び、メーカー名
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

■検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
■弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています。）、送付日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下の内容を書いたもの
- 返送先［住所/氏名/（あれば）FAX番号］
- 日中に連絡可能な電話番号
- 使用環境（機器構成、OSなど）
- 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

■修理は、下の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目84番地
ホ ー ム ペ ー ジ：http://www.iodata.jp/support/
2004.10.04 発行